

会 議 名	令和4年度第1回港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年4月5日（火曜日） 午後3時30分から午後5時まで
開 催 場 所	区役所8階 環境課会議室
委 員	（出席者）守田委員長、長谷川副委員長、山崎委員、岡山委員、大浦委員 （欠席者）なし
事 務 局	瀧澤地球温暖化対策担当課長、秋葉地球環境係長、河西
会 議 次 第	1 開会 2 委嘱状の交付 3 環境リサイクル支援部長あいさつ 4 委員自己紹介 5 委員長の選出 6 議題 （1）港区立エコプラザ指定管理者の公募要項（案）について （2）港区立エコプラザ指定管理者候補者選考基準及び採点表について （3）その他 7 閉会
配 布 資 料	（配布資料） 資料1 港区立エコプラザ指定管理者公募要項（案） 資料1-2 港区立エコプラザ指定管理者公募要項（案）別紙一覧 資料2 第一次審査採点表（案） 資料3 第二次審査採点表（案） 資料4 港区立エコプラザ指定管理者候補者選考スケジュール 参考資料1 港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会設置要綱 参考資料2 港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会委員名簿 参考資料3 港区立エコプラザ条例 参考資料4 港区立エコプラザ条例施行規則 参考資料5 港区立エコプラザ利用登録要綱 参考資料6 港区立エコプラザ運営要綱
会議の結果及び主要な発言	
事務局	開会  第1回港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会を開会します。本委員会は、「港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会設置要綱」に基づき開催いたします。 委員長選任まで、事務局で進行を務めさせていただきます。
事務局	（互選によりB委員長に決定）  副委員長については、港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会設置要綱

	<p>第5条第3項に基づき、環境リサイクル支援部長が務めます。</p> <p>(規程により長谷川副委員長に決定)</p>
委員長	<p>議題1の港区立エコプラザ指定管理者の公募要項(案)について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局から、港区立エコプラザ指定管理者公募要項(案)について説明)</p>
委員長 A委員	<p>意見、質問等がありますか。</p> <p>6ページの「オ リサイクルに関すること」ですが、最近の回収ボックスの利用状況・回収状況はどのようになっていますか。</p>
事務局	<p>回収率は上がっていると伺っています。</p>
B委員 副委員長	<p>ボタン電池の回収は行っていますか。</p> <p>資源等の回収は区の事業によって行われており、エコプラザは回収ボックスの設置施設という立ち位置です。区の事業ではボタン電池の回収を行っていないため、エコプラザではボタン電池の回収は行っていません。</p>
C委員	<p>3ページの「(9) 指定管理料等」の人件費ですが、現在のエコプラザの勤務状況はどのようになっていますか。</p>
事務局	<p>運営に係る職員は全部で11人です。内訳は常勤職員が8人、非常勤職員が3人、常勤職員のうち正規職員が3人、非正規職員が5人です。</p> <p>設備に係る職員は非常勤の正規職員が1人です。</p>
D委員	<p>7ページの「(4) 職員体制」について「オ 館長は、施設の管理運営の経験が3年以上ある者を充てること。」とありますが、環境施設の運営経験に限定すると、応募できる事業者が少ないと思います。</p> <p>要項は、一般的な施設を示す表現に修正し、審査時にどのような施設の管理運営経験があるかによって採点に差を付けるのはどうでしょうか。</p>
A委員	<p>「環境施設」という表現はされていません。一般的な施設を指す表現と解釈し、表現はこのままで問題ないのではないのでしょうか。</p>
B委員	<p>施設には、公的施設と民間施設の2つがありますが、公的施設の運営経験を求めますか。</p>
C委員	<p>公的施設の運営経験のメリット、民間施設の運営経験のメリットそれぞれあるので、公的施設に限定した運営経験は求めなくてもいいと思います。</p>
A委員	<p>事業者の判断に任せるものとし、表現はこのままで問題ないのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>それでは、7ページの「(4) 職員体制」の表現については原案のとおりとし</p>

委員長	<p>ます。</p> <p>その他、公募要項について何かございますか。</p> <p>(なし)</p>
委員長 事務局	<p>議題2の港区立エコプラザ指定管理者候補者選考基準及び採点表について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局から、港区立エコプラザ指定管理者候補者選考基準及び採点表について説明)</p>
C委員 事務局	<p>財務分析の結果、全ての応募事業者が不可だった場合はどうなりますか。</p> <p>全ての応募事業者を落選とします。</p>
D委員 事務局	<p>一次審査時に最低合格点はありますか。</p> <p>全体の点数のうち、6割の点数を最低合格点の目安としています。</p>
A委員 事務局	<p>一次審査の点数が低かった事業者が二次審査で高得点をとった場合、逆転することは可能ですか。</p> <p>可能です。</p>
D委員 事務局	<p>第一次審査表の評価項目の「5 質の高い事業の実施について」ですが、この項目は事業の根幹にも関わるため、各小項目の着眼点をより具体的に記載したほうが良いと思います。</p> <p>指摘を踏まえ、着眼点を修正します。</p>
D委員	<p>第一次審査表の評価項目の「4 管理運営計画に関する書類について」ですが、小項目「(2) 職員の確保・育成についての考え方」中にある6つの着眼点のうち4つ目、5つ目、6つ目は、小項目名と着眼点の中身が合致していません。着眼点自体はそのまま残すものとして、別の小項目に移行したほうが良いと思います。</p>
C委員	<p>「4 管理運営計画に関する書類について(1) 管理運営体制」の項目に入れるのはどうですか。</p>
D委員 委員長	<p>もしくは、小項目を新設するのはどうですか。</p> <p>項目を新設する場合は、項目名及び配点を決めなければいけません。いかがでしょうか。</p>
副委員長	<p>項目名は事務局により決定とし、配点は(2)の配点を半分にして、半分を新たな項目に配点するのはどうですか。</p>
委員長 事務局	<p>それでは、全体の配点は変えず、小項目を新設することとします。事務局は、委員の意見を踏まえ、項目名の設定及び配点の変更をお願いします。</p> <p>承知しました。</p>

A委員	要項に工事に関する記載がありますが、工事を行うことによって利用率が下がることがあるため、利用者に対する配慮等を評価項目に盛り込む必要があると思います。
B委員	「4 管理運営計画に関する書類について（3）安全安心な施設の運営方針」の着眼点にいれるのはどうですか。
C委員	もしくは、「4 管理運営計画に関する書類について（7）危機管理に関する取組」の着眼点にいれるのはどうですか。
事務局	委員の意見を踏まえ、記載方法を検討します。
D委員	事務局移転に関する経費について評価する必要はあるのでしょうか。あくまで、事業者がその費用を踏まえた事業計画をしていけばいいのであって、要項に注意点として記載すれば充分ではないでしょうか。
事務局	事務局移転に関する経費については評価項目から除き、要項に、事務所移転費用に関する注意事項を追記します。
E委員	新型コロナウイルス感染症等の対策に関することは要項に記載しないのでしょうか。
事務局	現在、感染症対策は実施することが当たり前になっているため、評価項目や要項には記載していません。
D委員	現在では当たり前になっていることですが、記載したほうが良いと思います。
事務局	要項に追記します。
D委員	公募要項と評価項目の表現に差があります。表現をすり合わせたほうが良いと思います。
事務局	公募要項と評価項目の表現を修正します。
E委員	「8 その他（2）区民等の雇用促進」ですが、障害者に関する雇用について記載はありますが、男女の雇用率は求めないのでしょうか。
C委員	高齢者や障害者と限定するのではなく、「多様性への配慮」のような文言を入れて、広く捉えるのはどうでしょうか。
事務局	委員の意見を踏まえ、記載方法を検討します。
E委員	常勤や非常勤の内訳については提出を求めないのでしょうか。
事務局	様式を確認します。様式がなかった場合、別途追加します。
委員長	その他、選考基準、採点表について何かございますか。
	(なし)

委員長	委員の皆様、その他何かご意見等ございますか。よろしいでしょうか。
B委員 事務局	非常に多くの意見が出たので、議事録とは別に、意見を一覧にまとめて各委員に送付してほしいです。 早急にまとめて送付します。
委員長 委員長	それでは、事務局から何かございましたらお願いします。 今後のスケジュールについてご説明いたします。 (事務局から今後のスケジュールについて説明)
委員長	スケジュール等に関して、よろしいでしょうか。 それでは、これをもちまして、第1回指定管理者候補者選考委員会を終了いたします。  閉会

会 議 名	令和4年度第2回港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年6月14日（火曜日） 午前10時から午前11時まで
開 催 場 所	区役所8階 環境課会議室
委 員	（出席者）守田委員長、長谷川副委員長、山崎委員、岡山委員、大浦委員 （欠席者）なし
事 務 局	瀧澤地球温暖化対策担当課長、秋葉地球環境係長、河西
そ の 他	中村公認会計士事務所 中村 元彦
会 議 次 第	1 開会 2 議題 （1）財務状況分析及び資金計画分析結果報告について （2）第一次選考（書類審査）について （3）第二次選考等について 3 閉会
配 布 資 料	（配布資料） 資料1 財務状況分析報告書 資料2 資金計画分析報告書 資料3 第一次審査採点集計表 資料3-1 第一次審査採点表 資料4 港区立エコプラザの指定管理者候補者公募に係る第一次審査の結果について（一次審査通過者用） 資料5 港区立エコプラザの指定管理者候補者公募に係る第一次審査の結果について（一次審査非通過者用） 資料6 第二次選考等タイムスケジュール 資料7 第二次審査採点表  参考資料1 第1回選考委員会議事録（要旨） 参考資料2 平成29年度港区立エコプラザ指定管理者候補者選考第二次審査質問一覧 参考資料3 港区立エコプラザ指定管理者候補者選考スケジュール
会議の結果及び主要な発言	
委員長	開会  第2回港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会を開会します。 議題1の財務状況分析及び資金計画分析結果報告について、お願いします。
公認会計士	直近の決算期3期分の決算書類をもとに、事業者の安定性を検証しました。 A-1のみ、直近2年間の財務状況が赤字ではありますが、財政的には安全性が高く、問題はありません。全ての事業者について、可と判定しました。

【財務状況分析 総合評価】

事業者	判定	総合判定
A-1	可	可
A-2	可	
B	可	
C-1	可	可
C-2	可	
D	可	

評価

可：(安定的に経営基盤を有している) 不可：(安定的に経営基盤を有していない)

令和5年度から9年度までの資金・収支計画について、予測の正確性や収益見込み等の妥当性を検証しました。全ての事業者がB評価で、問題はありません。

【資金計画分析 総合評価】

事業者	総合評価
A	B
B	B
C	B
D	B

評価

A：最優良 B：優良 C：普通 D：要改善 E：急改善

公認会計士

委員長

意見、質問等がありますか。

A委員

本部経費がA事業者は15%、C事業者は9%以下と差があります。全ての事業者が一般的な経費の範囲という認識でよろしいでしょうか。

公認会計士

問題ありません。

A委員

A事業者は人件費の上昇率が低く、本部経費で見込んでいる可能性があります。そういったことを踏まえると、15%でも問題ありません。

公認会計士

15%は若干高い数値ですか。

そのように思います。

B委員

A-1だけ赤字ですが、本当に大丈夫でしょうか。

公認会計士

資金計画分析も問題ありません。それぞれの経費がインフレを見込んで推移しています。水道光熱水費は5年間一定の金額を示していますが、先ほど説明したとおり、本部経費で見込んでいると想定されます。

A委員 公認会計士	<p>各者がどれだけインフレを見込んでいるかは判断が難しいところです。</p> <p>C事業者の人件費がかなり抑えられています。問題ないでしょうか。</p> <p>常勤職員の給与が300万円を切ると社会的に危ないと判断しています。C事業者は300万円を超えているので問題ないと判断しました。一方で、人件費が5年間で12.57%上昇しています。上昇率だけを見ると疑問がありますが、初年度の人件費を低く想定し上昇率で調整していることが伺え、妥当と考えます。</p>
C委員	<p>C者は館長の給料が一番高いです。各事業者の違いがよくわかります。</p>
委員長	<p>その他、財務状況分析結果、資金計画分析結果についてに関して、何かございますか。</p> <p>(なし)</p>
委員長	<p>議題2の第一次選考（書類審査）について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局から、第一次選考（書類審査）について説明)</p>
委員長	<p>意見、質問等がありますか。</p> <p>(なし)</p>
委員長	<p>第一次審査通過事業者について審議します。</p> <p>まず、委員はそれぞれの事業者の提案について、良かった点や悪かった点を述べてください。</p>
D委員	<p>AとCを高く評価しています。</p> <p>Aは提案内容から現状をよく知っていることが伺えます。他者と比較しても記載されている情報量が非常に多く、詳細に記載されています。また、板橋区の環境関連施設も管理しており、期待が持てます。</p> <p>Bは記載内容が薄く意欲が感じられません。</p> <p>Cもよく書けています。Aに劣らずCも良い提案がされています。</p> <p>Dの提案内容は普通で、特筆すべき点はありません。</p>
B委員	<p>Aと比較すると、他3者は記載内容が見劣りします。また、Bは実績を記載しているだけですが、Aは将来の展望がよく記載されており、今後の活動に期待が持てます。</p>
C委員	<p>Aの館長予定者は様々な運営実績があり期待が持てます。Bは、口腔ケアレクチャーで水資源を考える講座は他の事業者にはないものでした。</p> <p>Dの資金の使い方は一番合理的な示し方をしていると思います。</p>



E委員	<p>しかし、AとCに比べると、BとDは記載内容が薄く、やや見劣りします。</p> <p>AとCを評価しています。</p> <p>Aは無難な提案ではありますが、ノウハウに期待できます。</p> <p>Bはモニタリングによる自己評価や、在勤者へのサービスが見えません。口腔ケアレクチャーで水資源を考える講座等、不明瞭な提案がありました。</p> <p>Cは施設管理経験があるものの、環境関連施設の運営経験は不足しています。しかし、東日本大震災の際に避難所を開設した経験があり防災危機管理の点では実績は充分と言えます。また、質の高い事業の実施については、様々なターゲットを想定した提案がされており期待できます。</p> <p>Dは職員の専門性を身につける研修が不足しています。大使館との連携は興味深いですが、具体策がなく、実現性が見えません。また、世界各国のSDGsを学べる提案も実現性が見えません。</p>
A委員	<p>Aは提案内容に安定性がありました。しかし、事業運営費の割合が低く、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていた令和2年度の実績よりも見込額が低い点は気になります。二次審査に進んだ場合は質問したいと考えています。区の特性や施策をよく理解していますが、地域の拠点としての計画性は目新しい提案がなく、もう一步踏み込んだ提案をして欲しかったです。</p> <p>Bは全体的に具体性に欠けており、事業に対する考え方を述べていません。環境施設の実績はあるものの、事業部門に割く人員が他の事業者に比べて2名以上少なく、この体制で事業を実施できるのか疑問があります。</p> <p>Cは類似施設の運営管理経験は生涯学習施設がメインであり、運営経験は低く評価しています。しかし、質の高い事業の実施については、社会情勢も踏まえてよく記載されており、Aよりも良いと感じました。意欲的であり、高く評価します。</p> <p>Dは公共施設の管理の実績はありますが、館長予定者が令和4年4月から大規模施設の管理をやっており、仮にエコプラザの指定管理者となった場合、1年で配属が変わることになり、気になる点です。各項目の記載は及第点といったところで、AとCに比べると見劣りします。</p>
委員長	<p>意見交換を踏まえ一次審査の採点を確定します。</p> <p>A：785点 B：563点 C：745点 D：613点</p>
委員長	<p>それでは、第一次審査の通過者を審議します。</p>
委員長 A委員	<p>Bは各委員の意見から第一次審査は非通過でいいと思います。</p> <p>Dを第一次審査通過者とするかですが、第一次審査時点でAと150点以上</p>

C委員	<p>差があります。第二次審査が500点満点の審査なので、逆転の余地がないとは言えませんが、かなり厳しいと思います。</p> <p>Dは、3Rや自然共生への理解が浅く、講座を開催しても良いものは実施できないと思います。エシカルに関する記載は他の事業者にはないものでしたが、おそらくエシカルについても理解は浅いと思います。コンポストの設置等面白い提案はありましたが、実現性が見えません。</p>
B委員	<p>BとDはそこまで差がないように感じます。</p>
副委員長 事務局	<p>第一次審査通過者が2者でも事務局として問題ありませんか。</p> <p>問題ありません。</p>
委員長	<p>それでは、AとCの2者を第一次審査通過者に決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>議題3の第二次選考等について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局から、第二次選考等について説明)</p>
委員長	<p>意見、質問等がありますか。</p>
E委員	<p>現在提出されている資料とは別にプレゼンテーション資料を用意するという認識で間違いないですか。</p>
事務局	<p>その通りです。</p>
E委員 事務局	<p>事前にプレゼンテーション資料は確認できますか。</p> <p>事前に各委員ヘデータで展開します。</p>
委員長 A委員	<p>質問事項や質問の順番を予め決めておきますか。</p> <p>事務局で共通の質問事項を決めておいて、当日どの委員が質問するか決める方法でどうでしょうか。</p>
事務局 A委員 D委員 事務局	<p>基本の共通質問は事務局で作成し、事前に委員にご確認いただきます。</p> <p>共通質問が終わったら各委員が自由に質問しましょう。</p> <p>プレゼンテーションのやり方は特に指定はしませんか。</p> <p>指定しません。各事業者がPRしたい部分をメインにプレゼンテーションしていただきます。</p>
委員長	<p>その他、第二次審査について何かございますか。</p> <p>(なし)</p>
委員長 事務局	<p>それでは、事務局から何かございましたらお願いします。</p> <p>今後のスケジュールについてご説明いたします。</p>

委員長	<p>(事務局から今後のスケジュールについて説明)</p> <p>スケジュール等に関して、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、これをもちまして、第2回指定管理者候補者選考委員会を終了いたします。</p> <p>閉会</p>
-----	--

会 議 名	令和4年度第3回港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年7月8日（金曜日） 午後2時15分から午後5時まで
開 催 場 所	男女平等参画センター E学習室
委 員	（出席者）守田委員長、長谷川副委員長、山崎委員、岡山委員、大浦委員 （欠席者）なし
事 務 局	瀧澤地球温暖化対策担当課長、秋葉地球環境係長、河西
会 議 次 第	1 第二次審査（プレゼンテーション） 2 第3回港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会 （1）開会 （2）議題 ア 指定管理者候補者の決定について イ その他 （3）閉会
配 布 資 料	（配布資料） 資料1 第二次審査集計表 資料2 第一次・二次審査総合集計表 資料3 指定管理者候補者決定通知（決定者用） 資料4 指定管理者候補者決定通知（落選者用） 参考資料 第2回選考委員会議事録
会議の結果及び主要な発言	
委員長	第二次審査（プレゼンテーション、質疑応答） （事業者A入室）  港区立エコプラザ指定管理者候補者選考に関するプレゼンテーションを始めます。
委員長	（事業者Aプレゼンテーション）  ありがとうございました。それではこれより質疑を行います。
A委員	施設の運営や事業運営という観点から、港区の特性について説明してください。
事業者A	大手企業が集積しており、各企業が環境に対する高い意識を持っています。そのため、企業との連携を図ることが重要です。また、区民は、豊かな自然環境に愛着を持っており、そういった自然環境を活かす事業展開が必要です。
A委員	豊かな自然環境とは具体的に何ですか。
事業者A	浜離宮や自然教育園です。
A委員	公園等の管理されている自然以外には何かありますか。
事業者A	エコプラザのビオトープは、作られたビオトープではなく自然の中の一つになるように手入れされています。区内の他施設とは異なる自然環境を提供でき

A委員 事業者A	<p>ています。</p> <p>区民の特性はどのように捉えていますか。</p> <p>環境問題や社会情勢に対して高い意識を持っています。そのような方々に満足していただけるような事業を実施することが必要です。</p>
A委員 事業者A	<p>港区には外国人が多いですが、外国人に対してはどのように対応しますか。</p> <p>外国人講師を雇う等、間口の広い対応をします。</p>
B委員 事業者A	<p>新規参加とリピーター、それぞれの講座参加者数を増やす取組を説明してください。</p> <p>新規参加を増やすためには、平日の来館者数を増やすことが必要です。来館者数が少ない時間帯の客層を分析し、その客層が参加しやすい講座を企画します。また、リピーターを増やすために、夕方夜間の講座やオンライン講座等の社会人が参加しやすい講座を増やします。</p>
B委員 事業者A	<p>オンライン講座の実績を教えてください。</p> <p>最近開催したものでは、「都市部におけるエネルギー開発」という講座が非常に人気でした。</p>
B委員 事業者A	<p>資源循環に関する講座を開催したことはありますか。</p> <p>清掃工場や清掃事務所と連携した講座を実施しています。また、現在プラスチックのリサイクルに関する講座を企画しています。</p>
B委員 事業者A	<p>館長予定者に伺います。これまでの経験や資格等をどのように施設運営に活かしますか。</p> <p>国際協力に関する施設でSDGsを広める活動をしていました。また、生涯学習施設で子ども達のお仕事体験を企画しており、ノウハウは施設運営や事業計画に活かします。</p>
C委員 事業者A	<p>大手企業は環境活動に力を入れており、港区の環境にも意識を持っています。しかし、教育機関や行政との連携はあっても、区民との連携が薄いと考えています。企業と区民の連携を強めるために何か企画はありますか。</p> <p>企業を招いての講座等を実施します。環境問題に取り組んでいるメディアを始めとして、いくつかの区内事業者と繋がりがあるため、それらを活かして地域住民等と企業の連携を図ります。また、来館者の中には、社会人もいるので、そういった人にも働きかけて企業との繋がりを増やし、企業と区民の連携を一層強めていきます。</p>
C委員	<p>環境問題への意識はどの企業も持っていますが、具体的な活動ができていない企業もあります。そのような企業と区民を結びつけるような活動を期待しています。</p>
D委員 事業者A	<p>施設長を始め、職員全員が環境に関する知識を有している必要があります。専門的な知識を得るために具体的にどのような取組を行いますか。</p> <p>セミナーや研修に日々参加して、常に情報収集等に努めます。会社としてセミナーや研修のバックアップを行っています。また、知識を得て終わりではな</p>

	<p>く、それを事業運営や講座企画に反映させることで、より実用的な知識に結び付くと考えており、職員からの意見を積極的に聞き事業運営に反映させたいと考えています。</p>
D委員	<p>直近で参加したセミナーや研修を教えてください。</p>
事業者A	<p>6月の下旬に、ファッションとSDGsに関するセミナーに参加しました。また、6月は環境月間だったので、多くのセミナーや研修に参加しました。</p>
D委員	<p>全体の経費に占める事業運営費の割合が低く、講座数が少なかった令和2年度の実績よりも低い金額が提示されています。考え方について教えてください。</p>
事業者A	<p>過去の実績をもとに算出しており、講座数を減らす考えではありません。また、事業運営費には講座に係る費用以外も見込んでおり、その費用を削減することで、事業運営費全体を削減できると考えております。</p>
E委員	<p>経費削減の工夫を教えてください。</p>
事業者A	<p>最低賃金の値上がりは避けられないと考えており、人件費は上昇しています。一方で、IT化を進めることで、紙にかかる費用等を削減できると考えています。</p>
E委員	<p>広告媒体費に年間40万円の費用がかかるとあるが、具体的に教えてください。</p>
事業者A	<p>メールマガジンが年間10万円かかり、ノベルティが年間30万円かかります。ノベルティは、配布状況等をふまえて作成を検討します。</p>
E委員	<p>副館長2人の内1人は平日不在ということですが、運営体制上問題ないでしょうか。</p>
事業者A	<p>問題ありません。</p>
E委員	<p>委託事業者の個人情報流出がニュースで取上げられましたが、それを受けて別途対策を設けたり、社内教育等を行いましたか。</p>
事業者A	<p>会社内の監査組織により、全職員に対してe-ラーニングを実施しました。また、指定管理に係っている部署に対しては、別途個人情報保護研修を実施しました。今後、BCCとCCのメール誤送信防止のためシステムを導入予定です。</p>
C委員	<p>エコプラザ情報誌のデザインを、全年齢がわかりやすいものにリニューアルするとのことですが、高校生や大学生は、紙媒体を見るのが少ないと思います。情報発信の仕方を工夫する必要がありますが、具体的な考えはありますか。</p>
事業者A	<p>エコプラザのSNSはありますが、まだ学生のフォロワー数は少なく、現状ではメールマガジンや広報紙の方が情報が届きやすいと考えています。しかし、情報発信は対象等によって変える必要があり、講座の対象年齢や過去の参加者情報等を見極めて、最適な情報発信方法を検討してまいります。</p>

C委員	小学生向けの講座でも、高学年になると参加しなくなることがあると思います。講座参加者数を増やすために小学校高学年を定着させることが必要だと思いますが何か対策はありますか。
事業者A	確かに高学年になると参加率が低下します。一方で、引続き参加する人は、非常に環境への興味が熱心であり、研究意欲が高いです。そのような人に対してより踏み込んだ講座を実施したり、エコプラザを研究の場として提供することが重要だと考えます。
A委員	エコプラザがどのような状態になったら、エコプラザが活性化していると言えますか。
事業者A	港区環境基本計画の調査では、エコプラザの認知度は低かったので、もっとエコプラザのことを知ってもらうことが重要と考えています。認知度向上の活動を実施し、その結果をリピート率や新規参加率等の指標で見える化すれば、活性化の判断ができると考えます。
A委員	大人向けの講座や子ども向けの講座の違いを具体的に説明してください。
事業者A	大人向けは、廃棄物処理の仕方等の企業向けの講座を考えています。
A委員	学校との連携は考えていますか。
事業者A	考えています。学校ごとでプログラムが異なるため、情報交換や調査を行い、学校の授業をサポートする形で講座を実施したいです。
D委員	30代・40代の参加者数を増やす必要があります。夜間講座やオンライン講座を実施するとのことですが、それは現在も行われており、他に参加者数を増やす取組はありますか。
事業者A	広報が足りないと考えており、企業向けの広報に力を入れます。
D委員	企業向けの広報に力を入れるとのことですが、情報をどのように企業に届けますか。
事業者A	エコプラザ3階に事務所がある mecc と連携したり、浜祭り等の企業が出展するイベントに積極的に参加し交流を図ります。具体的に企業がどのような情報を求めているのか、どのような媒体なら届きやすいかを調査し、発信方法を検討します。
E委員	エコプラザ周辺で、脱炭素や水辺の環境について、独自の取組を行っている企業や団体があれば教えてください。
事業者A	自然のサンゴ礁を都内に持ってきて産卵させる取組をしている企業があります。その事業者とは既に連携しております。
委員長	ありがとうございました。第二次審査を終了します。 (事業者A退室)

	(事業者C入室)
委員長	港区立エコプラザ指定管理者候補者選考に関するプレゼンテーションを始 めます。
委員長	(事業者Cプレゼンテーション) ありがとうございました。それではこれより質疑を行います。
A委員	港区の特性について、説明してください。また、その特性にあわせてどのよう な施設運営が必要か説明してください。
事業者C	港区は昼間人口が多いこと、また、大使館も多くあることから、これらをター ゲットにエコプラザ中心に環境学習を活性化してまいります。また、区内には 豊かな緑がある一方、様々な企業が集積しており二酸化炭素排出量が23区で1 位などの特徴があります。そこで、未来を担う子どもたちと企業が連携するこ とに着目しました。多くの小学校では生涯学習の一環として環境学習に取り組 んでいるので、企業による環境への取組と学校による環境への取組を一体化させ るような事業を実施したいです。
B委員	脱炭素、資源循環、生物多様性のそれぞれのターゲットについてはよく理解 できました。では、それぞれのテーマで具体的にどのような取組を行い、どのよ うに講座参加者数を増やすか説明してください。
事業者C	脱炭素は、プロジェクトラーニングツリーの講座で、木を大切に学ぶ体験 プログラムを実施します。 資源循環については3Rの意識を高める活動をしていきます。洋服のリサイ クルを例に挙げると、捨てる意識と使う意識を高めていけたらと考えています。 ごみは捨てるものではなく資源に変える意識を区民の皆様と醸成していきたい と考えています。 生物多様性については、プロジェクトワイルドで野生生物、プロジェクトレ ッドで水のプログラムを活用しインプット、アウトプットしていくことを考え ています。港区は河川、運河など多くあり、地域をめぐりながら学び考える事業 を考えています。
B委員	施設を活用した講座はどのように考えていますか。
事業者C	エコプラザ内の講座で学びインプットし、アウトプットとしてフィールドワ ークで外に出て学ぶことを考えています。また、会議室の利用促進として木や水 について子どもが遊べるようなキットを用意し学べるようにするなど工夫をし ていきます。
B委員	企業向けの講座はどのように考えていますか。
事業者C	弊社では再生可能エネルギーの電力供給にも取り組んでおり、講座の開催や、 太陽光発電、水力発電などの一次産業を盛り上げながら資源を使うなどのネッ トワークリソースもあります。旅行会社も併設しており、教育観光を企画する



B委員	などの機会を設けたいと考えております。
事業者C	オランダ大使館は自転車を活用した環境にやさしい行動をPRしたいと聞いています。大使館との連携はどのように考えていますか。
C委員	弊社は旅行会社も併設しており、大使館とのつながりが深いです。先ほど紹介しましたウズベキスタン大使館の水問題以外にも、他の大使館と連携しオンラインのディスカッション等も検討していきたいと考えています。
事業者C	区の既存事業への協力以外にも、エコプラザ独自の取組を創出することは考えていますか。
C委員	幼少期に木に触れることは非常に重要と考えています。おもちゃ美術館と連携したワークショップの開催など、木のおもちゃを使った体験場所を創っていきます。また、学ぶだけでなく、木育指導者の育成もしていきます。区民の方々が訪れて学び教える側に立っていただくなど、今まで培ってきた生涯学習の視点も取り入れていきます。
事業者C	例えば千代田区で事業を実施する場合と港区で実施する場合の違いはどのように考えていますか。
D委員	私共は社会貢献活動休暇制度を作っていきたいと考えています。港区内でボランティアを希望する方々がエコプラザで育成する機会を提供していきたいと考えています。港区ならではの活動として、子どもも大人も環境について学んで教え合う取組をブランド化していきたいと考えています。
事業者C	今回の提案事業はどなたが主導されるのでしょうか。
D委員	副館長予定者が主導します。副館長予定者は大学で環境学を学んでおりファシリテーターの活動をしております。キャリアコンサルタントの活動もしており、そのリソースを活かしながら副館長候補として、事業責任者となりエコプラザに常駐する予定です。
事業者C	館長候補者に伺います。職員の環境に関する知識の向上が必要ですが、どのように考えていますか。
D委員	私は生涯学習施設を中心に担当してきました。来年4月に向けて環境施設の知識について学んでいきます。スタッフも講座に参加するなど、副館長予定者を中心に勉強してまいります。
事業者C	斬新な提案ですが、子ども監査の実現に向けて企業へのアプローチはどのように考えていますか。
E委員	現段階では当てのある企業はありませんが、私共の理念等を企業へ提案していきます。なお、弊社は港区にあるので、まずは弊社が子ども監査を受ける対象と考えています。また、m e c cとの連携を図り推進していきます。
	施設維持管理経費やそれ以外の経費全般について、削減への考え方を教えてください。

事業者C	主な工夫は人件費の削減です。施設と本社を行き来するハイブリッド営業を取り入れ、本社との兼務により人件費をカットしました。自由に動ける職員を配置し、大使館等への働きかけ等をしていきます。
E委員	副館長がシフト上、不在になる記載がありますが運営上問題ないのでしょうか。
事業者C	副館長が7日間勤務出来ない日もあるので、カバーできるシフト表にしています。
E委員	東日本大震災で被災地を支援した経験がありますが、独自のノウハウがあれば教えてください。
事業者C	避難訓練コンサートを実施して、コンサート形式に合わせて避難訓練を行いました。また、緊急時のルールレベルを組んで、役職の人が集まるタイミングやパターン等を徹底しています。実際に被災地の現場の館長から、マニュアルどおりにいかないことも多くあるという話を伺い、このような内容も社内で共有しています。あわせて、障害者の避難訓練についても対応マニュアルを作成しています。
E委員	個人情報紛失について社員に対する啓発はどうでしょうか。
事業者C	月1回 e-ラーニングで啓発するとともに、責任者会議で情報漏洩が起こらないよう啓発しています。また、業務ごとにマニュアル作成し徹底するとともに、個人情報について何時、誰が対応したのかなどの対策をしっかりとっています。
A委員	生涯学習施設の課題はどうでしょうか。
事業者C	地域に根差したものである必要があるが、政府などから日本全体で取り組む指針などがあつたらよいと思います。
B委員	電池を使わない木のおもちゃなど、広がりのある木育を進めるための考えはどうでしょうか。
事業者C	おもちゃ美術館が伝統の木のおもちゃを広げていくことを検討しています。おもちゃ美術館との連携により学びながら知識を深めていくことを考えています。
B委員	プラスチックについてはどのようなことを考えていますか。
事業者C	紙や木のストローを使うなどのワークショップにより、マイクロプラスチックへの学びを重要視して展開していきます。
B委員	内閣府の避難所マニュアルが改定されているが内容は把握していますか。
事業者C	改定されたことは知っていますが、内容までは把握していません。
E委員	館長候補者に伺います。エコプラザ周辺で、脱炭素や水辺の環境について、独自の取組を行っている企業や団体があれば教えてください。
事業者C	現在は具体的に把握していることはありませんが、子どもが必要とすること

委員長	<p>を企業に働きかけることが必要だと考えています。</p> <p>ありがとうございました。第二次審査を終了します。 (事業者C退室)</p> <p>第3回港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会開会</p>
委員長	<p>第3回港区立エコプラザ指定管理者候補者選考委員会を開会します。 議題1の指定管理者候補者の決定について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局から指定管理者候補者の決定について説明)</p> <p>第二次審査採点結果 A：390点 C：390点 第一次・第二次審査総合採点結果 A：1175点 C：1135点</p>
委員長	<p>各委員から、選考につきまして講評をお願いします。</p>
A委員	<p>Aは現状をよく知っており安定した提案内容でした。一方で、Cは新しい試みの提案が多くありました。しかし、Cの提案は実現性にやや不安があると思います。</p>
C委員	<p>Aの方が安心して事業運営を任せられる提案でした。Cは副館長予定者が主に喋っており、館長予定者の発言が少なく熱意をあまり感じられませんでした。</p>
B委員	<p>Aは発展性はややさみしいですが安心して任せられ、Cは発展性がありますが安定性という面ではやや不安が残ります。また、Cの提示費用が安いことは魅力的なものの、施設と本社を行き来するハイブリッド営業による人件費削減は、緊急時の対応ができるのか等の疑問が残りました。</p>
D委員	<p>Aは質疑の中でも、現在行われている取組の延長線上の取組を実施するという感じがしますが、安定した施設運営が可能と感じました。Cは理念等の基本的な部分がしっかりしていて、それに加えて提案内容が斬新で面白かったです。しかし、質疑の中で、提案を実現するプロセスが見えないと思いました。また、館長予定者の熱意があまり感じられず、副館長予定者が事業運営を先導するように感じとれました。</p>
E委員	<p>Cは今までにない斬新な取組の提案もあり、一次審査ではAよりも高く評価していました。しかし、館長予定者の発言が少なく、環境分野の知識にもやや不安を感じました。Aは館長予定者が職員の意見を積極的に取り入れる姿勢も見え、職員の企画を実施させるマネジメント力が高いと感じ、二次審査ではAを評価しました。</p>

委員長	<p>各委員からの講評は以上です。点数を変更される委員はいらっしゃいますか。</p> <p>(委員一同、変更なし)</p>
委員長	<p>第二次審査採点結果は両事業者ともに同じ点数ではありましたが、第一次・第二次審査総合採点結果で上位であるA事業者を港区立エコプラザの指定管理者候補者として選考したいと思います。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>事務局から何かございましたらお願いします。</p> <p>(事務局から事務連絡)</p> <p>それでは、これをもちまして、第3回指定管理者候補者選考委員会を終了いたします。</p>